

令和4年度 交通信号診断士 学科試験解答

問1 答え⑤ 交通信号施設保守点検ハンドブック P 3 参照

点検とは、施設が正常に機能しているかの調査であり、**保守**とはその結果に基づき正常に機能するように修理等を実施することである。

問2 答え① 交通信号工事施工ハンドブック P 7 8 参照

問3 答え⑤ 交通信号施設保守点検ハンドブック P 6 1 参照

ラジオ・音響技能検定はアナログ技術としての電気理論、電子工学、無線及び通信理論などの知識及び技能であり、選択肢⑤の説明文は工事担任者についてのものである。

問4 答え② 交通信号工事施工ハンドブック P 2 7 参照

問5 答え② 交通信号施設保守点検ハンドブック P 7 3 参照

系統動作とは、パターン切替時刻を基準とし、それにサイクル長の倍数とオフセットを加算した時刻(以下「系統点」という。)が第1階梯の立ち上がりになるように動作することにより、第1階梯の立ち上がりを隣接する制御機と同期させる動作をいう。

問6 答え① 交通信号施設保守点検ハンドブック P 2 0 参照

感知「有」の場合、感知信号の最大出力電圧は15Vである。

問7 答え② 交通信号施設保守点検ハンドブック P 7 2 参照

問8 答え① 交通信号施設保守点検ハンドブック P 7 0 参照

遠隔動作中及び多段動作中で最長監視時間に達した場合は、**保安動作**を開始する。

問9 答え⑤ 交通信号施設保守点検ハンドブック P 7 0 参照

時計異常が発生した場合は**保安動作**に移行する。

問10 答え④ 交通信号工事施工ハンドブック P 8 6, 8 7 参照

問11 答え③ 交通信号工事施工ハンドブック P 1 4 参照

関係者への連絡は、負傷者を救護した後にする。

問 1 2 答え④ 交通信号工事施工ハンドブック P 7 4 参照
接地抵抗の測定器は接地抵抗計であり、クランプメータは交流の負荷電流及び漏れ電流測定に用いられる。

問 1 3 答え① 交通信号施設保守点検ハンドブック P 8 参照

問 1 4 答え② 交通信号施設保守点検ハンドブック P 9 参照

問 1 5 答え③ 交通信号施設保守点検ハンドブック P 9 参照

問 1 6 答え④ 交通信号施設保守点検ハンドブック P 9 参照

問 1 7 答え③ 交通信号工事施工ハンドブック P 1 0 1 参照
車の停止回数が多くなると、交通事故や交通渋滞が発生する可能性が高くなる。

問 1 8 答え② 交通信号施工ハンドブック P 1 0 7 参照

$$\begin{aligned} & (24 + 5 + 2 + 3) / 80 \\ & = 34 / 80 \\ & = 0.425 \\ & \doteq 43\% \end{aligned}$$

問 1 9 答え④ 交通信号工事施工ハンドブック P 1 0 9 参照

問 2 0 答え③ 交通信号工事施工ハンドブック P 7 3 参照

問 2 1 答え② 交通信号施設保守点検ハンドブック P 6 7 参照

遠隔動作ができない場合は単独動作、単独動作ができない場合は**保安動作**を、第 1 階
梯から開始する。

問 2 2 答え① 交通信号工事施工ハンドブック P 1 0 5 参照

問 2 3 答え③ 交通信号工事施工ハンドブック P 1 6 並びに
交通信号工事安全必携 P 3 9 参照

労働安全衛生規則第 5 2 8 条

事業者は、脚立については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

- 一 丈夫な構造とすること。
- 二 材料は、著しい損傷、腐食等がないものとする。
- 三 脚と水平面との角度を七十五度以下とし、かつ、折りたたみ式のものにあつては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えること。
- 四 踏み面は、作業を安全に行なうため必要な面積を有すること。

問 2 4 答え④ 交通信号工事施工ハンドブック P 1 6 参照

梯子の上端は、上部端から 6 0 c m 以上突出していなければならない。

問 2 5 答え④ 交通信号工事施工ハンドブック P 7 参照